

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<u>牛久市訪問型家庭教育支援チーム</u>
②活動拠点	中央生涯学習センター(教育委員会生涯学習課)
③活動範囲	牛久市全域
④組織体制	<u>9</u> 人 スクールアシスタント2名、保健福祉関係者1名、看護師1名、大学院生3名、海外在住経験者2名
⑤活動開始年度	令和元年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 牛久市教育委員会生涯学習課 (TEL)029-871-2301 (E-mail) syougai@city.ushiku.ibaraki.jp

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>市内小中学校における不登校児童生徒をもつ家庭と外国籍の保護者、児童生徒に対し、訪問や面談を通して支援を行っている。</p> <p>【不登校支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問を行ったり、学校で面談を行ったりしている。学校や教育センター「きぼうの広場」等関連機関と連携を図り、より適切な支援ができるようにしている。 <p>【外国籍保護者支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問を行ったり、学校の面談に立ち会ったり、電話やメールで学校からの文書の翻訳等を行ったりしている。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>【不登校支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の困り感を学校につなぎ、学校側に理解してもらえたことで母親の不安が軽減された。 ・家庭訪問し、生徒との共通の話題を見つけ、信頼関係を築いたことで日中、生徒が学校に行くことができるようになった。支援員がつなぎ役となり、担任や学年の先生にも会うことができた。 <p>【外国籍保護者支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの情報を翻訳や通訳し、必要な情報を得られたことから、学校を信頼して子育てに専念できるようになった。 ・進路に関する面談では、学校と保護者の双方の思いを丁寧に通訳し、本人と保護者が納得する形で進路選択することができた。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携協力推進事業)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>